

高知医療センター・診療の質評価委員会 委員長 深田順一

先月号に続き、高知医療センターの「医療の質の指標」をご覧ください。資料の前半では、これまでの歩みが判るように同一基準で算出した66項目を5年間の一覧表として作ってみました。この中には、指標1「脳血管外科患者の深部血管静脈血栓発生率(%)」のように、ここ4年、ゼロを維持できているものもありますし、指標63「患者意見のうち、感謝文の割合(%)」と指標64「苦情発生率(%)」のように、患者さんからの声としての苦情が減り感謝が増えるという、望ましい傾向が読み取れるものもありますが、他の指標では、その増減についてそれぞれ関係者の分析が必要です。この集計を本院の医療の質のさらなる改善に、是非、結びつけていかなばと気持ちを新たにしているところです。

### 高知医療センター臨床評価指標 (クリニカルインディケーター) 第4回集計 (全66項目)

#### 1 個別診療機能指標 (47項目)

指標番号	指標名称	H18	H19	H20	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考
1	脳神経外科退院患者の深部静脈血栓発生率 (%)	0.16	0.0	0.0	0.0	0.0	年	分子：退院時病名に深部静脈血栓がある患者数 分母：脳神経外科年間退院患者総数 備考：入院時、すでに血栓があったと科長が判断できた症例は除いた。H22年度の分母は858例。
2	脳神経外科における術後48時間以内の再手術 (%)	1.75	1.90	1.08	0.44	1.47	年	分子：科内の術後48時間以内の再手術例数 (再手術は脳外→脳外と定義する) 付随する手術を含む 分母：脳神経外科における手術実施患者数 備考：指標の趣旨から、ここでは緊急再手術をカウントすることとした。H22年度の分母は204例。
3	慢性硬膜下血腫の再手術率 (%)	5.3	11.1	14.8	10.8	11.1	年	分子：該当年の再手術件数 (初回手術の時期は考慮せず) 分母：該当年の慢性硬膜下血腫手術実施総数 備考：該当年の慢性硬膜下血腫手術を受けた患者リスト (初回手術の時期は考慮せず) から医師による該当例を抽出した。H22年度の分母は36例。
4	脳血管障害患者の平均在院日数 (日)	—	—	20.7	19.6	19.0	年	分子：脳血管障害患者延べ在院日数 分母：脳血管障害患者総数
5	脳梗塞患者へのt-PA投与件数 (件)	—	—	14	22	25	年	分子：カテゴリーに当てはまる投与総数 分母：—
6	斜視手術件数 (件)	57	96	105	85	60	年	分子：カテゴリーに当てはまる手術総数 分母：—
7	未熟児網膜症網膜光凝固術施行症例数 (件)	—	—	11	12	5	年	分子：カテゴリーに当てはまる患者総数 分母：—
8	白内障手術件数 (件)	—	—	153	188	198	年	分子：カテゴリーに当てはまる手術総数 分母：—
9	網膜硝子体手術件数 (件)	—	—	12	25	41	年	分子：カテゴリーに当てはまる手術総数 分母：—
10	代謝・内分泌科医師の指示による外来個人栄養指導件数 (件)	63	85	73	88	185	年	分子：年間延べ数 分母：— 備考：人数でなく、件数とした。
11	当院で糖尿病治療を行った患者の中期的治療効果率 (グリコ HbA1c の低下幅) (%)	3.23	2.63	2.81	2.43	—	年	分子：期間内に代謝・内分泌科、総合診療科を初診した患者の初診後半年以上 (1年未満) で最も変化 (改善) したHbA1c値の平均値 分母：— 備考：糖尿病診療の中期的効果判定として測定。該当例はH21年度が18例。HbA1c実数 (平均) は初診時が8.63%、フォローアップ時が6.20%であった。
12	糖尿病治療を主目的とした入院患者の冠動脈循環評価率 (%)	86.2	90.2	79.0	76.5	61.5	年	分子：分母のうちマスター心電図and/or心筋シンチand/or冠動脈カテを実施している患者数 分母：代謝・内分泌科に入院し、糖尿病の治療が主目的であった患者総数 備考：対象とした患者 (分母) は臨床的観点から入院中に冠動脈循環評価をすべきと判断される患者群とした。妊娠糖尿病、悪性腫瘍患者、検査済患者などは除いた。H22年度の分母は26例。

指標番号	指標名称	H18	H19	H20	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考
13	気管支鏡検査実施後の気胸発生率 (%)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2	年	分子：検査後気胸発生症例数 分母：気管支鏡施行症例数 備考：H22年度の分母は403例。
14	造血幹細胞(同種、自家)移植実施数(件)	0	6	2	16	13	年	分子：造血幹細胞移植実施数(同種、自家) 分母：— 備考：血液内科・輸血科、小児科の実績を合わせた実施数。
15	輸血時の不規則抗体スクリーニング検査の陽性率 (%)	2.3	2.4	3.8	3.2	1.8	年	分子：その陽性件数 分母：輸血時の不規則抗体スクリーニング依頼件数 備考：輸血時の不規則抗体スクリーニング依頼件数はH22年度は1,699例で、陽性は30件。
16	自己末梢血採取時のCD34の当日検査実施率 (%)	—	—	100	100	100	年	分子：採取当日中にCD34検査を実施できた件数 分母：自己末梢血採取時のCD34検査実施総数
17	腎生検実施数(腎臓内科・膠原病科)(件)	82	66	96	54	62	年	分子：腎臓内科・膠原病科での腎生検総回数 分母：—
18	腎生検(腎臓内科・膠原病科)における併発症発生率 (%)	0.0	0.0	1.0	1.8	0.0	年	分子：腎臓内科・膠原病科での併発症発生数 分母：腎臓内科・膠原病科での腎生検総数
19	腎移植実施数(件)	8	9	8	12	5	年	分子：腎移植総回数 分母：—
20	大腸内視鏡治療・処置後の緊急手術率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	年	分子：穿孔による開腹手術症例数 分母：大腸内視鏡ポリペクトミー・粘膜切除実施総症例数 備考：H22年度の分母は307例。
21	総胆管結石処置後の緊急手術率 (%)	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	年	分子：穿孔による開腹手術症例数 分母：総胆管結石処置実施総症例数 備考：H22年度の分母は171例。
22	脳卒中患者における受診から画像検査(CT/MRI)までの時間(分)	—	—	27.2	26.9	24.3	年	分子：脳卒中患者におけるdoor to CT(MRI)time(分) 分母：救命救急センターに搬送された脳卒中患者数 備考：時間は病院到着時からCTあるいはMRI検査撮影時刻までを電子カルテ記録から算出した平均時間。
23	急性心筋梗塞患者における受診からPCI治療までの時間(分)	—	—	84.3	82.3	56.0	年	分子：急性心筋梗塞患者におけるdoor to balloon time(分) 分母：救命救急センターに搬送された急性心筋梗塞患者数 備考：時間は病院到着時から血管形成術施行時刻までを電子カルテ記録から算出した平均時間。
24	救命救急センター受診から入院までの平均所要時間(分)	—	—	81.0	79.0	100.1	年	分子：救命救急センター受診から、そのまま入院となった患者の受付から入室までの所要時間(分) 分母：救命救急センター受診から、そのまま入院となった患者数
25	ヘリポート利用数(件)	221	183	195	242	220	年	分子：ヘリ搬送件数(搬入・搬出を含む) 分母：—
26	同一入院中で2回目以降の手術が緊急手術(予定していなかった手術で科を問わない)であった患者の割合 (%)	1.25	1.19	0.84	0.71	1.18	年	分子：同一入院中で2回目以降の手術が緊急手術(科を問わない予定外手術)であった患者数 分母：入院手術患者数 備考：同一入院中に2回以上手術を受けた患者リストから該当例を抜き出した。分母は被手術実人数で、H22年度は4,159例。
27	輸血製剤廃棄率 (%)	1.16	1.62	1.06	0.59	1.13	年	分子：廃棄赤血球製剤単位数 分母：輸血管理室から出庫した赤血球製剤単位数総数 備考：輸血管理室のデータで自己血分を除く。H22年度の分母は10,824単位で分子は122単位。
28	顎骨骨折観血的整復手術後の予定しない再手術率 (%)	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	年	分子：術後感染、プレート破損などによる再手術件数 分母：手術実施患者数 備考：H22年度の分母は10例。
29	呼吸器外科手術後在院死亡率 (%)	0.00	0.00	1.67	0.90	0.00	年	分子：手術後在院死亡数 分母：呼吸器外科全手術数 備考：H22年度の分母は151例。

指標番号	指標名称	H18	H19	H20	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考
30	呼吸器外科における胸腔鏡手術率 (%)	40.3	45.2	43.8	51.4	48.3	年	分子：呼吸器外科全手術のうち胸腔鏡手術数 分母：呼吸器外科全手術数 備考：H22年度の分母は151例。
31	整形外科手術のうち、緊急手術例の割合 (%)	28.7	29.4	20.0	22.3	21.9	年	分子：緊急で行われた整形外科手術数 分母：整形外科手術総数 備考：該当患者（分子）の選別は手術部責任者に確認した。H22年度の分母は948例。
32	総分娩数 (件)	524	531	590	647	680	年	分子：総分娩数 分母：—
33	ハイリスク妊娠症例 (%)	58.4	64.4	41.7	48.1	54.3	年	分子：ハイリスク妊娠症例数 分母：総分娩数 備考：H22年度の分子は369例。
34	出生児体重<1,000gの産児数 (人)	16	24	26	34	24	年	分子：出生児体重<1,000gの産児数 分母：—
35	出生児体重1,000g以上、1,500g未満の産児数 (人)	27	21	21	17	17	年	分子：出生児体重1,000g以上、1,500g未満の産児数 分母：—
36	小児外科手術件数 (件)	211	216	203	167	201	年	分子：実施件数 分母：—
37	新生児手術件数 (件)	—	—	15	9	14	年	分子：実施件数 分母：—
38	冠動脈造影総数 (件)	—	786	826	808	778	年	分子：実施件数 分母：—
39	冠動脈インターベンション初期成功率 (%)	—	97.3	95.6	97.7	96.3	年	分子：冠動脈インターベンション初期成功数 分母：冠動脈インターベンション実施総数 備考：H22年度の分母は349例。
40	カテーテル心筋焼灼術実施数 (件)	75	76	69	57	39	年	分子：実施件数 分母：—
41	心臓大血管手術症例数 (件)	281	254	260	293	256	年	分子：手術症例数 分母：—
42	冠動脈バイパス手術症例数 (件)	112	111	100	85	82	年	分子：手術症例数 分母：—
43	緊急手術症例数 (心臓血管外科) (件)	129	91	108	99	92	年	分子：救命救急センター経由の緊急手術症例数 分母：—
44	DPC 院内感染症発生率 ①敗血症発生率 (%)	—	—	5.31	8.17	8.23	年度	分子：敗血症となった症例数 分母：中心静脈注射実施症例数 備考：H22年度の分母は753例。
45	DPC 院内感染症発生率 ②肺炎感染発生率 (%)	—	—	8.44	10.76	14.76	年度	分子：肺炎となった症例数 分母：人工呼吸実施症例数 備考：H22年度の分母は515例。
46	DPC 院内感染症発生率 ③尿路感染発生率 (%)	—	—	0.18	0.47	0.27	年度	分子：尿路感染となった症例数 分母：膀胱留置カテーテル使用症例数 備考：H22年度の分母は4,888例。
47	DPC 救急搬送症例死亡率 (%)	—	—	5.4	5.2	5.3	年度	分子：死亡症例数 分母：救急搬送症例数 備考：H22年度の分母の1,710例 (DPCの様式1に該当するケース) は、救急車で来院後、入院した患者総数2,292件のうち病院内搬送に該当する例など、様式1から除外するケースを除いたものとなっている。従って、この集計方法では外来扱いのまま死亡した患者は含まれていない。

## 2 総論的診療機能指標 (質的指標を中心とする) (19項目)

指標番号	指標名称	H18	H19	H20	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考
48	外来予約時間遵守率 (%)	—	66.9	72.0	67.4	63.5	年度	分子：分母のうち30分間の予約時間枠内に診療の始まった患者数 分母：外来診療予約患者総数 (予約時刻に遅れた患者を除く) 備考：30分毎に設定されている診療予約枠内で、予約のとおりに医師の診療が始まった患者割合を算出した。
49	治験契約本数 (件)	8	11	13	8	17	年度	分子：治験契約本数 分母：— 備考：IROM(院内治験コーディネーター)提供資料を業務推進課で集計した。
50	臨床治験症例数 (件)	37	12	44	48	54	年度	分子：臨床治験症例数 分母：— 備考：IROM(院内治験コーディネーター)提供資料を業務推進課で集計した。



指標番号	指標名称	H18	H19	H20	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考
51	ボランティア1人あたりの月平均活動回数(回)	3.9	4.9	4.0	4.0	4.0	年度	分子: ボランティア活動回数 分母: ボランティア活動人数 備考: マクドナルドハウスでの活動を除く。年度集計は3月~2月の12ヶ月とした。
52	ボランティア1人あたりの月平均活動時間(時間)	12.9	15.4	11.6	10.0	8.0	年度	分子: ボランティア活動総時間 分母: ボランティア活動人数 備考: マクドナルドハウスでの活動を除く。年度集計は3月~2月の12ヶ月とした。
53	剖検率(%)	4.7	4.1	5.1	2.9	4.2	年度	分子: 剖検数 分母: 死亡患者数(入院+外来)
54	AI (autopsy imaging) 件数(件)	51	66	70	88	81	年度	分子: 外来死亡した日にCT撮影がなされた患者数 分母: - 備考: 外来で死亡した患者で、来院日にCT撮影がなされた件数をIIMS(統合情報システム)・診療支援DWH(医事データウェアハウス)にて集計した。
55	褥瘡発生率(%)	2.5	1.8	1.1	1.9	1.6	定点	分子: 調査日に褥瘡(深さd1以上)を保有する患者数-入院時に褥瘡を保有する患者数 分母: 調査日の入院患者数 備考: 日本褥瘡学会による定義に従ってスキンケア・サポート室にて集計した。
56	受付後、影響がレベル0~1と判定されたインシデントレポートの職員1人あたりの平均報告件数(件)	-	-	1.67	1.65	1.36	年度	分子: レベル0~1の報告数(報告数は同一事例についての重複報告を含む年度総数) 分母: インシデントレポートを報告できる職員の総数 備考: 影響レベルが0~1の報告数が多いことは、医療安全に関する組織および職員のリスク感受性の指標とされる。H22年度のインシデントレポート総数は2,507件で、該当するレポート数は1,875件、レポート報告が可能な総職員数は本年度は増加して1,375名。
57	インシデントレポートで報告された事例のうちアクシデント(レベル3以上)の割合(%)	-	-	0.75	1.07	0.88	年度	分子: インシデントレポートで報告された事例のうちアクシデント(レベル3以上)の事例数 分母: レベル0~5のインシデントレポート報告事例総数(重複事例を含まない) 備考: この発生率が低いほど医療の質が高いと評価できる。H22年度の実例総数は2,149件、このうちレベル3以上は19件。
58	医師からのインシデントレポート報告率(%)	5.4	2.7	5.4	5.0	3.7	年度	分子: 医師からのインシデントレポート報告数 分母: インシデントレポート総数 備考: インシデントレポートシステムから医療安全管理室にて集計した。H22年度の分子は93件、分母は2,507件。
59	入院患者での転倒・転落率(%)	0.16	0.16	0.22	0.22	0.21	年度	分子: 入院中の転倒・転落患者数(延べ件数) 分母: 在院患者延べ数 備考: 医療安全管理室にて(件数/患者・日)としてインシデントレポートシステムから集計した。H22年度の分子は382件、分母は185,842件。
60	転倒・転落が原因で手術が必要になった患者率(%)	-	-	0.22(%)	0.33(%)	0.02(%)	年度	分子: 入院中の転倒・転落が原因で手術を実施した件数(延べ件数) 分母: 在院患者延べ数 備考: 医療安全管理室にて(件数/患者・日)としてインシデントレポートシステムから集計した。H22年度の分子は3件、分母は185,842件。
61	退院サマリ作成率(%)	-	-	83.9	92.6	90.4	年度	分子: 退院後2週間以内に診療情報管理士が受け取った件数 分母: 総退院患者数 備考: 中央診療情報管理室にて集計した。
62	研修医1人あたりの講習会受講済み指導医(人)	-	0.47	0.93	1.21	1.59	年度	分子: 認定された指導医講習会を受講している指導医数 分母: 在院研修医数 備考: 研修管理委員会研修プログラム届出事項。H22年度の分子は27人、分母は17人。
63	患者意見のうち感謝文の割合(%)	19.6	17.2	21.4	24.7	27.3	年度	分子: 投書された感謝文の件数 分母: 投書された意見総数 備考: まごころ窓口にて集計した。
64	苦情発生率(%)	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	年度	分子: 投書された苦情件数 分母: 実入院患者総数 備考: まごころ窓口にて集計した。
65	地域医療連携室経由の紹介患者に関する受診1週間以内の返書率(%)	-	-	91.8	91.2	89.3	年度	分子: 分母のうち、受診から1週間以内に初回返書が書いている患者数 分母: 地域医療連携室経由の紹介患者数総数 備考: 救命救急センターへの紹介患者集計は含まない。
66	転院調整のための平均所要日数(日)	-	-	10.3	11.7	10.6	年度	分子: 転院調整にかかった日数の合計 分母: 転院依頼総数 備考: H22年度の後方連携への院内各科からの依頼件数(総数)は1,211件。

後半は、今回出揃った医療の現場を支える看護・薬剤・医療技術・栄養の4局で設定された指標の一覧です。それぞれの局長を中心に、その局としてどのような指標を据えるべきか、という観点から指標の設定をしてもらったものですが、まだベンチマークになるものがあまりないようで、このような形になりました。今後の展開にご期待ください。

### 看護局「看護の質」インディケーター

指標番号	指標名称	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考	
看護 1	経験年数5年以上の看護師の締める割合 (%)	72.82	73.06	年度	分子：経験5年以上の看護師数 分母：看護師（正規職員）数 備考：一般的に経験年数5年以上の看護師はジェネラリストとして臨床診断能力や実践能力を備えている。	
看護 2	新人看護職員の占める割合 (%)	6.39	3.87	年度	分子：新人（新卒新人）看護師数 分母：看護師（正規職員）数 備考：経験の未熟な新人看護師の割合は看護ケアの質に影響する。	
看護 3	男性看護師の占める割合 (%)	4.26	4.93	年度	分子：男性看護師数 分母：看護師（正規職員）数 備考：男性看護師と女性看護師の考え方（視点）や体力等、性差は看護の質に影響する。	
看護 4	各種専門領域認定資格取得者数（延べ人数）	65	91	年度	分子：各種専門領域認定資格取得者数 分母：－ 備考：特定の専門領域の認定資格取得や研修修了者数は看護ケアの質に影響する。	
	各種資格取得人数内訳		H21	H22	各種資格取得人数内訳	
	がん看護専門看護師		2	2	消化器科内視鏡技師	
	小児看護専門看護師		1	1	リンパ浮腫指導技能者養成講座修了者	
	皮膚排泄ケア認定看護師		1	1	心臓リハビリテーション指導士	
	感染管理認定看護師		1	1	AIDS診療従事者研修修了者	
	集中ケア認定看護師		1	2	院内臓器移植コーディネータ養成研修修了者	
	救急看護認定看護師		2	3		
	不妊症看護認定看護師		1	2	中四国ストーマリハビリテーション講習会修了者	
	がん化学療法看護認定看護師		1	1		
	日本糖尿病療養指導士		8	5	専門分野「がん」における質の高い看護師養成研修修了者	
	日本インターベンショナルラジオロジー学会認定IVR看護師		7	9		
呼吸療法士		8	15	専門分野「糖尿病」における質の高い看護師養成研修修了者		
看護 5	部署別の多職種カンファレンス実施率 (%)	94.44	93.33	年度	分子：実施部署数 分母：院内部署数 備考：チーム医療の実施状況を示す。	
看護 6	デスクカンファレンス開催率 (%)	15.24	6.66	年度	分子：カンファレンス件数 分母：死亡退院患者数 備考：家族および職員のグリーフケアが行われた割合を示す。	

### 医療技術局「医療技術の質」インディケーター

指標番号	指標名称	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考
医技 1	MRI検査室への持込禁止物によるアクシデント発生率 (%)	0.06	0.00	年度	分子：持込禁止物の持込によるアクシデント発生件数 分母：MRI検査実施件数 備考：MRI検査では持込禁止物を持ち込むことによって、強力磁石による吸着事故、高周波による火傷等の重大事故につながる。MR検査の安全性を評価する目的で、持込禁止物の持ち込み発生率を指標とした。H22年度の分母は7,533件、分子は0件。
医技 2	外来検体検査の報告に要した時間（分）	12	13	年度	分子：ガス、生化学、血糖、CBC、凝固の報告時間の統計 分母：上記5項目それぞれの検査件数 備考：報告時間は、検体が検体検査室受付登録から、結果が電子カルテ上に送信されるまでの平均時間。H22年度のそれぞれ項目別の予約時間はガス1分、生化学27分、血糖12分、CBC5分、凝固17分、尿16分。
医技 3	病理迅速検査件数(件)	384	423	年度	分子：組織診・細胞診の迅速検査件数 分母：－

## 薬剤局「薬学的管理の質」インディケーター

指標番号	指標名称	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考			
薬剤 1	薬剤管理指導実施件数(件)	16302	17377	年度	分子：－ 分母：－ 備考：入院患者への医薬品の適正使用と安全管理に対する薬剤師の貢献度としての指標。			
薬剤 2	薬剤管理指導実施率(%)	64.2	65.9	年度	分子：実施実患者数 分母：全入院実患者数 備考：入院患者への医薬品の適正使用と安全管理に対する薬剤師の貢献度としての指標。H22年度の分母は18,125人で各月ごとの入院患者数を年度で合計した。分子は薬剤管理指導を行った患者の実数(月1回でも複数回でも1人とする)で、薬剤師が薬剤管理指導に関わり、指導料を算定した患者数とし、月ごとの指導患者数を年度で合計した。			
薬剤 3	外来における抗がん剤注射の無菌調製実施率(%)	94.9	97.6	年度	分子：抗がん剤注射の無菌調製件数 分母：全外来抗がん剤注射処方件数 備考：抗がん剤の安全使用に関する指標。			
薬剤 4	入院における抗がん剤注射の無菌調製実施率(%)	95.2	93.5	年度	分子：抗がん剤注射の無菌調製件数 分母：全外来抗がん剤注射処方件数 備考：抗がん剤の安全使用に関する指標。			
薬剤 5	抗MRSA薬の治療薬物モニタリング(TDM)実施率(%)	78.2	71.9	年度	分子：抗MRSA薬血中濃度測定患者数 分母：抗MRSA薬投与患者数 備考：抗MRSA薬の適正使用に関する指標。			
薬剤 6	薬剤局に関連する各種認定資格取得者数(延べ人数)	14	17	年度	分子：－ 分母：－ 備考：特定の専門領域の認定資格取得者の人数により、薬剤師による薬物療法への支援業務の質が向上する。			
	各種資格取得人数内訳		H21	H22	各種資格取得人数内訳		H21	H22
	日本医療薬学会指導薬剤師		1	1	日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師		1	1
	日本医療薬学会認定薬剤師		1	1	日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師		1	2
	日本薬剤師研修センター認定実務指導薬剤師		3	3	日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門薬剤師		2	2
	日本病院薬剤師会認定指導薬剤師		3	3	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師(人)		0	2
日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師		2	2					

## 栄養局「臨床栄養管理の質」インディケーター

指標番号	指標名称	H21	H22	算出単位	分子 / 分母および備考	
栄養 1	治療食加算対象患者に対する栄養指導実施率(%)	16.2	19.7	年度	分子：個人・集団栄養指導の実施件数 分母：治療食加算対象患者数	
栄養 2	栄養局に関連する各種認定資格取得者数(延べ人数)	3	5	年度	分子：－ 分母：－ 備考：特定の専門領域の認定資格取得者の人数により、管理栄養士による栄養管理および栄養治療の質が向上する。	
	各種資格取得人数内訳		H21	H22		
	糖尿病療養指導士(日本糖尿病療養指導士認定機構)		3	3		
	栄養サポートチーム(NST)専門管理栄養士(日本静脈経腸栄養学会認定)		0	1		
TNT-D認定管理栄養士(日本栄養士会認定)		0	1			

## ドクターヘリ場外離着陸場整備工事に伴う駐車場利用に関するお知らせ

12月1日よりドクターヘリ場外離着陸場整備工事のため、従来の患者用外来駐車場の一部(右図面の黄色い部分)への駐車ができなくなっております。

このため当分の間、ご紹介いただく患者さんへは患者用駐車場として、右図下(右)の臨時駐車場(約100台駐車可能)および右図下(左)の第2駐車場(約25台駐車可能)も利用可能であることをご案内いただければ幸いです。

皆様には、しばらくご迷惑をおかけいたしますこととお詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

